

『生理学テキスト 第8版』

(第1刷～第3刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.267 上から17～21行目

(誤) K_{ATP} チャンネルは、内向き整流性 K チャンネル (心筋は Kir6.2) とスルホニルウレア薬の ピナシジル を結合するスルホニルウレア受容体 (心筋 SUR2A) の複合体である。心筋以外にも $I_{K,ATP}$ チャンネルは膵臓の B (β) 細胞におけるインスリンの放出の抑制に関する (図 17-31 参照)。 ピナシジル は $I_{K,ATP}$ を抑制してインスリンの放出を増加する。

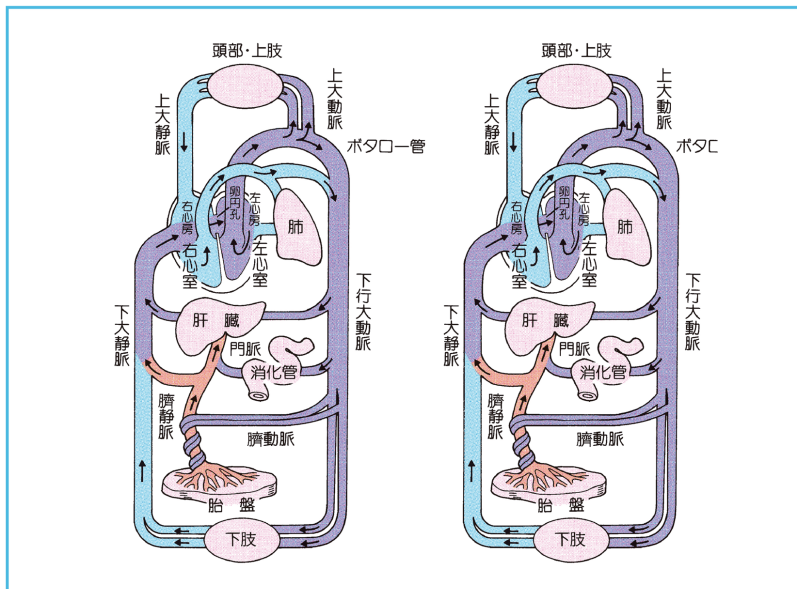
(正) K_{ATP} チャンネルは、内向き整流性 K チャンネル (心筋は Kir6.2) とスルホニルウレア薬の **グリベンクラミド** を結合するスルホニルウレア受容体 (心筋 SUR2A) の複合体である。心筋以外にも $I_{K,ATP}$ チャンネルは膵臓の B (β) 細胞におけるインスリンの放出の抑制に関する (図 17-31 参照)。 **グリベンクラミド** は $I_{K,ATP}$ を抑制してインスリンの放出を増加する。

『生理学テキスト 第8版』 (第1刷～第2刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.453 図18-10
(誤)



(正)

